

9

立体パズルになっなたのは何？

—まちにあるモノを立体パズルにしちりっゃいました—

徳島大学工学部社会基盤デザインコース 山中 英生、尾野 薫、滑川 達

1. ねらい

わたしたちの暮らす徳島県には、いろいろな建物や橋があります。その建物や橋は、いつ、誰が、どうしてつくったのでしょうか？また、その建物や橋は、どんなふうにつくられているのでしょうか？徳島県だけではなく、日本や世界には、どんな建物や橋があるのでしょうか？

ここでは、大学生のつくった立体パズルに挑戦してもらいながら、まちにある建物や橋がどんなふうにつくられているのか、学んでもらいます。また、徳島、日本、世界などいろいろなところにある建物や橋について、紹介します。

2. やりかた

- ブースの中は、①建物②土木③歴史と3つのスペースに分かれています。その中から好きなスペースを選んでください。
- 大学生のお兄さんたちが、【徳島】【日本】【世界】という3つのパズルを準備しています。パズルにはそれぞれ、難しさが決まっています。好きなパズルを選んでください。何がパズルになっているかは、参加してからの楽しみです。
- 自分が選んだパズルを組み立てて、完成させてください。このとき、完成までにかかった時間をはかります。
- パズルが完成したら、大学生のお兄さんたちが、パズルになっている建物や橋について説明します。説明が終わったら、完成証明書がもらえます。証明書は、完成までにかかった時間によって違います。

3. その他

人が多いときには、整理券を配ることがあります。

1人で参加しても、お友達やお父さんお母さんと一緒に参加してもいいです。



建物の例



土木の例



歴史の例